

# 2019年度第1四半期決算説明

2019年5月15日

**株式会社 クラレ**

## 2019年度1Q実績

	19年度1Q実績	前年同期実績	増減
売上高	1,416億円	1,492億円	▲75億円(▲5.0%)
営業利益	146億円	223億円	▲77億円(▲34.5%)
経常利益	128億円	219億円	▲91億円(▲41.6%)
親会社株主に帰属 する四半期純利益	61億円	151億円	▲90億円(▲59.7%)

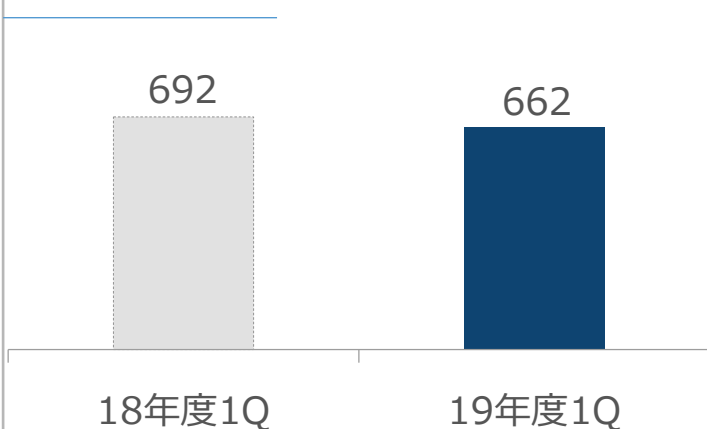
### 参考

円/ドル	110	108
円/ユーロ	125	133
国産ナフサ価格 (千円/kl)	45	47

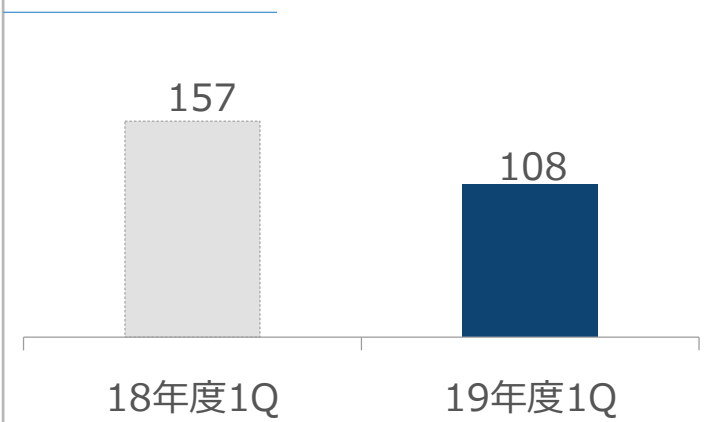
\* 18年度末にカルゴン・カーボン社の企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っているため、前年同期実績の数値には会計処理の確定影響を遡及して適用しています。

# ビニルアセテートセグメントの概要

## 売上高（億円）



## 営業利益（億円）



### ■ ポバール樹脂

高付加価値化が進んだものの、汎用用途の販売量が減少。

### ■ 光学用ポバールフィルム

一部生産ラインの操業低下の影響を受け、数量は前年同期並み。

### ■ 水溶性ポバールフィルム

個包装洗剤向け販売が引き続き拡大。

### ■ PVBフィルム

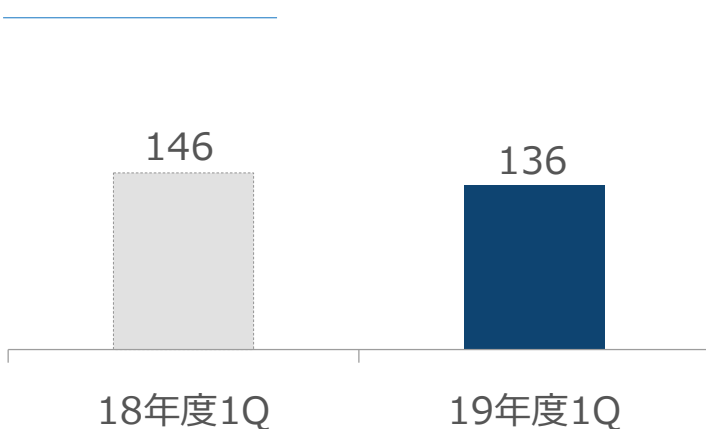
自動車・建築用途ともに販売量が減少。

### ■ <エバール>

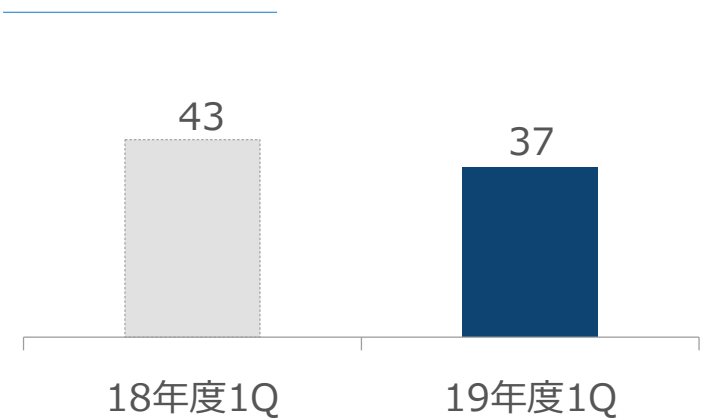
昨年に米国工場で発生した事故の影響が長引き、食品包材用途の販売量が減少。自動車生産台数の減少に伴い、自動車ガソリンタンク用途も低調。

# イソプレンセグメントの概要

## 売上高（億円）



## 営業利益（億円）



## ■ イソプレン関連

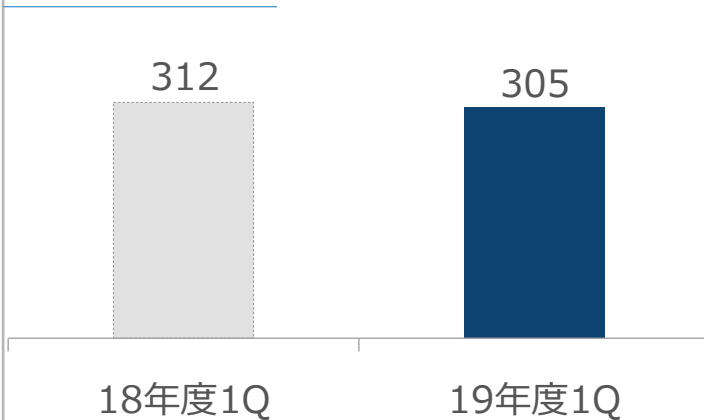
原燃料価格が昨年終盤より下落傾向に転じたが、<セプトン>で中国を中心に需要が縮小し、販売量が減少。一方、ファインケミカルは堅調に推移。

## ■ <ジェネスタ>

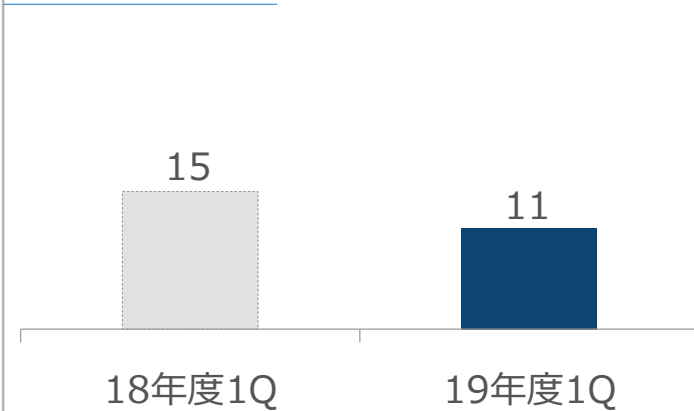
原燃料価格の下落が追い風となるも、電気・電子デバイスの需要低迷により、コネクタ用途の出荷が減少。

# 機能材料セグメントの概要

## 売上高（億円）



## 営業利益（億円）



### ■メタクリル

販売量は減少したが、高付加価値化が進んだことに加え、原燃料価格の下落も寄与し、堅調に推移。

### ■メディカル

歯科材料の審美修復関連製品を中心に堅調に推移。

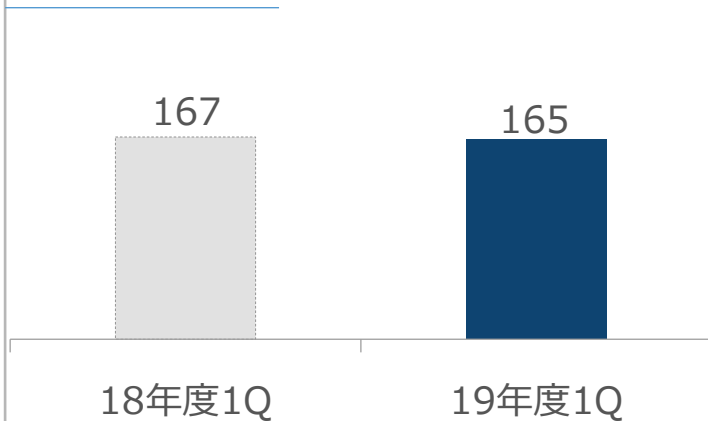
### ■炭素材料、カルゴン・カーボン

活性炭市場は堅調な需要が継続し、高付加価値製品の販売が拡大するも、カルゴン・カーボン米国工場でのユーティリティ設備の不具合が発生し、操業度が低下。

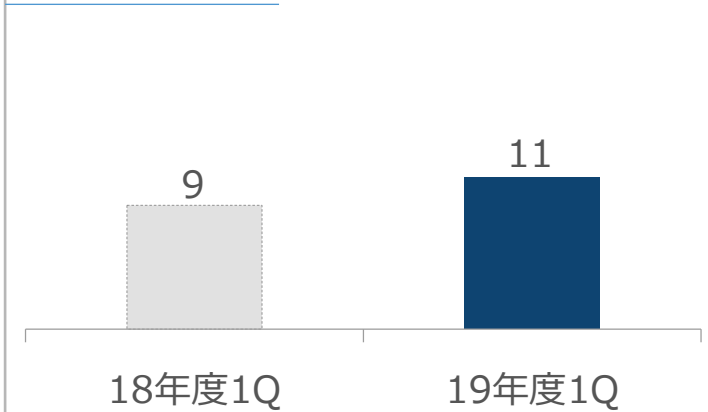
\* 18年度末にカルゴン・カーボン社の企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っているため、前年同期実績の数値には会計処理の確定影響を遡及して適用しています。

# 繊維セグメントの概要

## 売上高（億円）



## 営業利益（億円）



### ■ <クラリーノ>

ラグジュアリー商品用途で堅調な販売が継続するも、スポーツシューズなど靴用途の販売量が減少。

### ■ 繊維資材

ビニロンでゴム資材向け販売量が拡大。

### ■ 生活資材

<クラフレックス>で汎用品の数量が減少したが、高付加価値品の販売が拡大し、堅調に推移。

# セグメント別売上高・営業利益

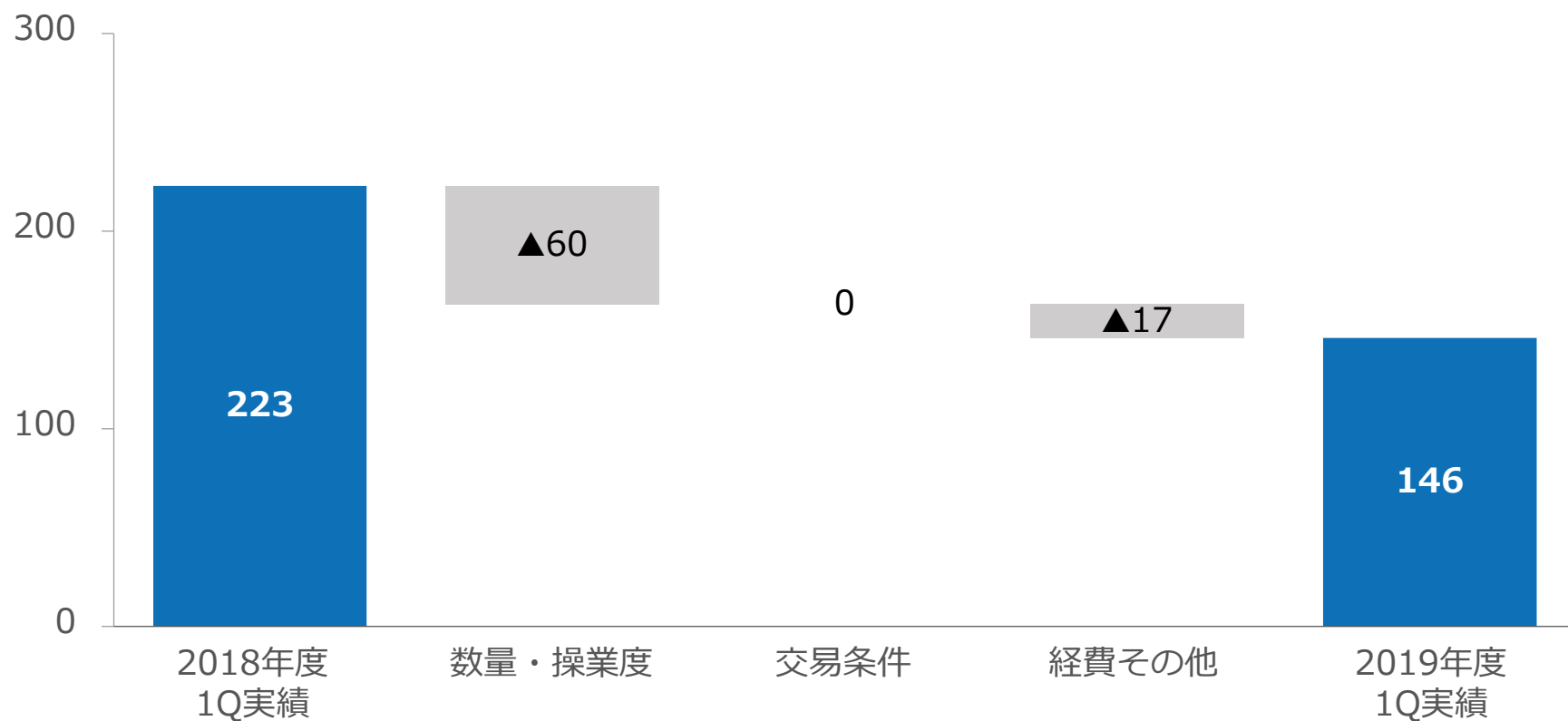
[ 億円 ]

	19年度 1Q実績		前年同期実績		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ビニルアセテート	662	108	692	157	▲30	▲49
イソプレン	136	37	146	43	▲10	▲6
機能材料	305	11	312	15	▲7	▲4
繊維	165	11	167	9	▲2	2
トレーディング	314	9	325	11	▲11	▲2
その他	142	1	128	3	14	▲2
調整額	▲308	▲32	▲278	▲16	▲30	▲16
<b>合計</b>	<b>1,416</b>	<b>146</b>	<b>1,492</b>	<b>223</b>	<b>▲75</b>	<b>▲77</b>

\* 18年度末にカルゴン・カーボン社の企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っているため、前年同期実績の数値には会計処理の確定影響を遡及して適用しています。

# 19年度1Q営業利益増減分析

[ 億円 ]



	18年1Q実績	19年1Q実績
国産ナフサ/kI	47千円	45千円
ドル (平均)	108円	110円
ユーロ (平均)	133円	125円

\* 18年度末にカルゴン・カーボン社の企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っているため、前年同期実績の数値には会計処理の確定影響を遡及して適用しています。



# 貸借対照表①(資産の部)

[ 億円 ]

	19年3月末	18年12月末	増減
流動資産	4,163	3,949	214
固定資産	5,743	5,522	221
資産合計	9,907	9,471	436

＜参考＞ 期末日為替レート

	19.3末	18.12末
円/ドル	111	111
円/ユーロ	125	127

## 貸借対照表②(負債の部)

[ 億円 ]

	19年3月末	18年12月末	増減
流動負債	1,728	1,448	280
固定負債	2,558	2,353	205
負債合計	4,286	3,801	485
純資産合計	5,621	5,670	▲50
負債・純資産合計	9,907	9,471	436

＜参考＞ 期末日為替レート

	19.3末	18.12末
円/ドル	111	111
円/ユーロ	125	127

# 2019年度業績予想

[ 億円 ]

	19年度 今回修正予想			19年度 期初予想 (2019年2月13日)			増減		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	2,900	3,180	6,080	3,120	3,180	6,300	▲220	0	▲220
営業利益	290	405	695	385	405	790	▲95	0	▲95
経常利益	265	385	650	365	385	750	▲100	0	▲100
親会社株主に 帰属する当期 純利益	160	240	400	230	240	470	▲70	0	▲70

# 2019年度業績予想

[ 億円 ]

	19年度 今回修正予想			18年度 実績			増減		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	2,900	3,180	6,080	3,014	3,016	6,030	▲114	164	50
営業利益	290	405	695	363	295	658	▲73	110	37
経常利益	265	385	650	346	266	612	▲81	119	38
親会社株主に 帰属する当期 純利益	160	240	400	226	110	336	▲66	130	64

\* 18年度末にカルゴン・カーボン社の企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っているため、前年同期実績の数値には会計処理の確定影響を遡及して適用しています。

# セグメント別売上高予想

[ 億円 ]

	2019年度 今回修正予想			2018年度 実績			増減			期初予想からの 増減		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
ビニルアセテート	1,350	1,480	2,830	1,378	1,415	2,794	▲28	65	36	▲120	0	▲120
イソブレン	280	300	580	289	283	572	▲9	17	8	▲20	0	▲20
機能材料	630	700	1,330	653	662	1,315	▲23	38	15	▲50	0	▲50
繊維	320	340	660	335	313	647	▲15	27	13	▲20	0	▲20
トレーディング	700	750	1,450	684	704	1,388	16	46	62	0	0	0
その他	280	290	570	292	288	580	▲12	2	▲10	▲10	0	▲10
調整額	▲660	▲680	▲1,340	▲618	▲650	▲1,267	▲42	▲30	▲73	0	0	0
合計	2,900	3,180	6,080	3,014	3,016	6,030	▲114	164	50	▲220	0	▲220

# セグメント別営業利益予想

[ 億円 ]

	2019年度 今回修正予想			2018年度 実績			増減			期初予想からの 増減		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
ビニルアセテート	235	330	565	290	258	547	▲55	72	18	▲75	0	▲75
イソプレソ	40	35	75	48	24	73	▲8	11	2	▲10	0	▲10
機能材料	15	30	45	19	25	44	▲4	5	1	▲15	0	▲15
繊維	30	40	70	33	30	63	▲3	10	7	0	0	0
トレーディング	22	23	45	21	21	42	1	2	3	0	0	0
その他	5	10	15	7	5	12	▲2	5	3	0	0	0
調整額	▲57	▲63	▲120	▲55	▲68	▲123	▲2	5	3	5	0	5
合計	290	405	695	363	295	658	▲73	110	37	▲95	0	▲95

\* 18年度末にカルゴン・カーボン社の企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っているため、前年同期実績の数値には会計処理の確定影響を遡及して適用しています。

未来に化ける新素材。

**kuraray**

金額表示は億円未満四捨五入にしております。

本資料中の業績予想、見通し及び事業計画についての記載は、将来の事業環境・経済状況等に関する現時点での仮定・推測に基づいています。実際の業績は、これと異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。